

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		都市交流事業費[友好都市交流補助金事業]																																																												
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 12	地域振興費	事業番号	2																																																						
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																													
担当部署・課長名	地域振興		課 市民協働・消費（市民協働）			係	課長名	石川正憲																																																						
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	5	4																																																						
【施策名】 地域を超えたパートナーシップの確立						総合計画書 (ページ)	113																																																							
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）																																																										
	・交流事業補助：東大和市に在住・在勤・在学する小学生以上の者で構成されている団体（4人以上） ・宿泊事業補助：東大和市に在住する市民			不明 （参考：市民の人口 令和4年1月1日現在 85,285人）																																																										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）																																																										
	市民や市内団体が喜多方市へ訪問することで、両市の市民レベルの友好及び親睦を深め、友好都市関係の意義を実感する機会となる。 喜多方市へ訪問することで、両市の市民レベルの友好及び親睦関係を深める。			実際に友好都市交流補助金を利用した人数																																																										
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）																																																										
	①喜多方コーナー及び地域振興課窓口での情報発信 ②市報での喜多方観光情報、補助制度の掲載 ③喜多方市写真展 ④うまかんべ～祭、産業まつりにおける喜多方市に関する情報発信			①紹介回数 ②掲載回数 ③実施回数 ④実施回数																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>不明</td> <td>不明</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>人</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目 標</td> <td>②の目標値</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>60</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> 目標値設定の考え方 友好都市締結10周年を迎えるため、今後は友好都市関係を安定化させ交流を活性化する。 </td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>回</td> <td>常時</td> <td>常時</td> <td>①通年 ②1回 ③1回 ④0回（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの開催無）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	対象指標	①の数値	人	不明	不明			成果指標	②の数値	人	23	0	9		目 標	②の目標値	人			60	10	目標値設定の考え方 友好都市締結10周年を迎えるため、今後は友好都市関係を安定化させ交流を活性化する。						活動指標	③の数値	回	常時	常時	①通年 ②1回 ③1回 ④0回（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの開催無）												
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標																																																								
		平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標																																																								
対象指標	①の数値	人	不明	不明																																																										
成果指標	②の数値	人	23	0	9																																																									
目 標	②の目標値	人			60	10																																																								
	目標値設定の考え方 友好都市締結10周年を迎えるため、今後は友好都市関係を安定化させ交流を活性化する。																																																													
活動指標	③の数値	回	常時	常時	①通年 ②1回 ③1回 ④0回（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの開催無）																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費（実績）</th> <th>円</th> <th>55,000</th> <th>0</th> <th>18,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>円</td> <td>55,000</td> <td>0</td> <td>18,000</td> </tr> <tr> <td>特定財源（国・都・他）</td> <td>円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>（うち受益者負担）</td> <td>円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費（目安）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>所要人数(再任用以外)</td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>所要人数(再任用)</td> <td>人</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>職員人件費(再任用以外)</td> <td>円</td> <td>831,000</td> <td>838,000</td> <td>825,000</td> </tr> <tr> <td>職員人件費(再任用)</td> <td>円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費+人件費</td> <td>円</td> <td>886,000</td> <td>838,000</td> <td>843,000</td> </tr> </tbody> </table>			事業費（実績）	円	55,000	0	18,000	財源					一般財源	円	55,000	0	18,000	特定財源（国・都・他）	円	0	0	0	（うち受益者負担）	円	0	0	0	人件費（目安）					所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.1	職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000	職員人件費(再任用)	円	0	0		事業費+人件費	円	886,000	838,000	843,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
事業費（実績）	円	55,000	0	18,000																																																										
財源																																																														
一般財源	円	55,000	0	18,000																																																										
特定財源（国・都・他）	円	0	0	0																																																										
（うち受益者負担）	円	0	0	0																																																										
人件費（目安）																																																														
所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1																																																										
所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.1																																																										
職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000																																																										
職員人件費(再任用)	円	0	0																																																											
事業費+人件費	円	886,000	838,000	843,000																																																										
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成6 年度																																																											
	(2) 環境の変化 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延による旅行環境停滞の影響を受け、制度利用の実績は発生しなかった。令和3年度においては感染症の蔓延状況が終息した時期もあったためか、制度利用が若干発生したものの、現状を考慮して令和4年度、令和5年度の目標値を下方修正した。																																																													

事業名称	都市交流事業費[友好都市交流補助金事業]			
担当部署・課長名	地域振興	課 市民協働・消費（市民協働） 係	課長名	石川正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	・交流事業の申請は、宿泊事業と比較して提出書類が多く煩雑なため、宿泊事業として申請する方がいた。 ・喜多方市写真展の実施により、「喜多方市に行きたい」という市民の方の声が聞けた。			
6 市民協働	(1) この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2) 令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 情報提供の機会のさらなる創出			
7 課題	(1) 令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 喜多方市の存在を身近に感じるよう観光を契機に友好都市関係への市民の関心喚起を図り、友好都市との相互に利益のある関係発展を目標に長期的な視点で事業を継続する。			
	(2) (1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・コロナ禍において喜多方市への移動を強く推奨できない状況であったが、コロナ禍終息後の交流再開に向けて市報や写真展での友好都市関係のPRに努めた。 ・当制度の周知のために、森永乳業株式会社東京多摩工場にチラシを配布した。			
	(3) (2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 当制度の利用人数が少ない原因に喜多方市が遠方で利用し難いことが挙げられるが、距離的な短所に増す魅力を発信し引き続き当制度の幅広い周知に努める。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 地域を超えたパートナーシップの確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1) 仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 東大和市民が足を運ぶことで喜多方市における当市の認知度を向上し、相互発展が図れるよう交流を活性化する。			
	(2) 上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 現時点での問題点は、市民の友好都市への認識不足が挙げられる。SNSなどを活用し、友好都市や当制度のPRを強化していきたい。 また、来年度は友好都市締結10周年を迎えるにあたり記念市報を発行するため、友好都市の存在をより多くの市民が認識し、更なる交流発展のために努めたい。			